琴女房聲形氣

上

へ13
2378
54

遠13
2378
84-1

琴聲女房形氣

丁酉春

新版

上冊

山東庵京山作

歌川國貞画

鶴屋

梓

本居翁の隨筆王かつま十四の巻の繪のことを論ぜらるゝ条に「今の世お江戸絵といふゑるどえまいてあるぞちふかゝ顔よくせんとまるやどふ絵のさゑいもーゑるいさーふもいえび中ゝふ顔えふてそえてとつさるえるのもり」とられきゝ人は世ふ雷名と郷音ーもふ名家の説あるべ余ゞゞ絵草紙作者ゞゞえんのせろれよりーあーと論ぜべ死ゆいゆ称どもとふ江戸絵とらひい世ふふ錦絵のるい梓行の物とえその説るびこまてこの物い絵師もそまとえいもとるゞゝ画法ふよゝびおえさるゆのよゑをむゆとしてえゞくゆるふ物ある人の目ゆつさるくえ変ーたえば遊女の行装ゆきとあ者と論ぜるゞど絵草紙の作もこれふあゞ かゞゞゝ ひさーえてふとはゆかゝゞびよゝくゞの絵勢ゝむゆとまるゆるつゝるきさのゆゞゞゝ江戸絵も絵草紙ゆ元来児女子たちゞ永昼眠を驅るの玩冊るれば世の物ゆ人画法文則の論を下ーあふゆるるを

天保八酉春

山東庵京山

きくらもんぐらんのけらい
きく井ゆきのすけ
尾上
はなあやめ

ひのもんけらい
くものすけ
とりのこ

酒

酒
む

む
尾上
酒
梅

上居
月見幸写西

初

酒

東都赤本園家匠校撰

概況 光明集 全二冊 閑板

漢人名詩ヨリ出陸奥甲州佐倉ヲ中心トシ其他小國藩ヲ中心トシ其他ノ人々ノ俳合凡百和文漢文ノ文詩ヲ集ル其他ノ人々ノ俳合ノ流行ヲ一瞥スル者也

概況 叢業集 全二冊 閑板

近畿兵庫ノ俳人ノ俳合凡百和文漢文ノ文詩ヲ集ル其他ノ人々ノ俳合ノ流行ヲ一瞥スル者也

概況 金四歌仙 全一冊 閑板

梅雪 乎来 相毛 中川 四人ノ作ル所ノ歌仙

東都赤本園家匠校撰

概況 金人 附合集 全四冊 閑板

元文保元年ヨリ寛延年間ノ俳人ノ附合凡百篇ヲ集ル

概況 ㊀輯 金人 發句集 全二冊 赤百年早春出板

書肆

江戸通油町

仙鶴堂

鶴屋喜右衛門藏

遠
2378
54 2出

遠
2378
34人比

琴高女房

京山作

園貞画

下のまき

さてもうるさき作者の口上はこれまでにて示でんこれ世
▲こまつあらひこたちりやうえ百三十二せんぞ一
▲月ひ入極上くもの
▲ろくものとエ千ぜん▲ろくあるろい
▲小児五ぐんもり▲ビ長生丸百せん
▲ルクヲの金ろりろの自牡丹百五せん

あく
だんせい
ろやへ
つゐの
ろう
とのろ
へ京へも
ろ
た
七
ふ
ろ
梅

三あく
ふとるもとよりおもがくんきよおよろれきく
のひすめどかろうばそ
はちやもちのあれやんそよ
のちくろうろうちそまの
おくりとせやろうあ
きとしあのめとの
よろいさきるがりり
やくくくくくのよ
おろおトやしくるい
あいさろふいろうふいか
おちつきそ
ものせすろふ
ばおそろのそのうんのたのそ
ますそやそきさ男とアきりそ
たのれくはふくりのそわも
さてもそもちめきのろでぞとも
ふれふろもきとちつけそのつ
みもものうちふさらアれ
トりふふあとあのめ
ろそろんでつりかきろ
ますろまにろうでこの
だんせとろもせへのあと
あとりそそのそのろ
くコレかもたんせろ
あくとりあとのろ
ふあいくあうま

三あく
ふとるもとよりおもがくんきよおよろれきく
のひすめどかろうばそ
はちやもちのあれやんそよ
のちくろうろうちそまの
おくりとせやろうあ
きとしあのめとの
よろいさきるがりり
やくくくくくのよ
おろおトやしくるい
あいさろふいろうふいか
おちつきそ
ものせすろふ
ばおそろのそのうんのたのそ
ますそやそきさ男とアきりそ
たのれくはふくりのそわも
さてもそもちめきのろでぞとも
ふれふろもきとちつけそのつ
みもものうちふさらアれ
トりふふあとあのめ
ろそろんでつりかきろ
ますろまにろうでこの
だんせとろもせへのあと
あとりそそのそのろ
くコレかもたんせろ
あくとりあとのろ
ふあいくあうま

下のまき

さてもうるさき作者の口上はこれまでにて示でんこれ世
▲こまつあらひこたちりやうえ百三十二せんぞ一
▲月ひ入極上くもの
▲ろくものとエ千ぜん▲ろくあるろい
▲小児五ぐんもり▲ビ長生丸百せん
▲ルクヲの金ろりろの自牡丹百五せん

あく
だんせい
ろやへ
つゐの
ろう
とのろ
へ京へも
ろ
た
七
ふ
ろ
梅

三あく
ふとるもとよりおもがくんきよおよろれきく
のひすめどかろうばそ
はちやもちのあれやんそよ
のちくろうろうちそまの
おくりとせやろうあ
きとしあのめとの
よろいさきるがりり
やくくくくくのよ
おろおトやしくるい
あいさろふいろうふいか
おちつきそ
ものせすろふ
ばおそろのそのうんのたのそ
ますそやそきさ男とアきりそ
たのれくはふくりのそわも
さてもそもちめきのろでぞとも
ふれふろもきとちつけそのつ
みもものうちふさらアれ
トりふふあとあのめ
ろそろんでつりかきろ
ますろまにろうでこの
だんせとろもせへのあと
あとりそそのそのろ
くコレかもたんせろ
あくとりあとのろ
ふあいくあうま

初

山東庵京山作

香蝶樓國貞画

天保八年丁酉初春新彫

佞紫田舎源氏

柳亭種彦作
歌川國貞画

当年九二編より九六編まで開板おくれず毎月発兌仕奉候

一筋道雪眺望　笠亭仙果作　全四冊　歌川国芳画

森羅万象心意氣　五柳亭徳升作　全四冊　歌川国芳画

琴声女房形氣　東庵京山作　全四冊　歌川国貞画

飛翼連理窓の櫻樹　通用亭徳成作　全四冊　歌川國芳画

敵討義士身業物　全四冊　歌川國芳門理画

茶番のくらは　全二冊　歌川国貞画

美艶仙女水口　黒油義女水口　三十八銭

南鬼子町三丁目西側　坂本氏製

書物錦繪團扇地紙問屋　江戸通町　鶴屋喜右衛門